

平成27年度 第12回理事会

平成28年2月16日（火）19：30

事務所 & ネット

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議事録署名人指名

4. 報告連絡事項

(1) 会務報告

(2) その他

5. 審議事項

6. 協議事項

(1) 8020歯っぴースマイル開催日程について

(2) 伝達講習会後の時間の使い方について

(3) 各部事業計画・報告について

(4) 来年度の各部事業計画について

(5) その他

7. その他

次回理事会日程 3月15日（火）19：30 岩歯事務所

*旅費支給のため、岩歯事務所にお集まりください

8. 閉 会

平成28年2月16日

平成27年度 第12回理事会事業報告書

1/25	国保連合会合議(清水理事)	国保会館
1/26	19:00 岩見沢市三師会新年交礼会(岩齒主幹)	サンプラ
2/ 1	18:00 岩見沢市健康づくり推進委員会(谷本副会長・山田理事)	
2/ 5	18:00 医師会親睦会麻雀大会	スズケン
2/ 6	14:00 道央北ブロック連絡協議会	滝川市
2/ 9	19:30 第10回三役会・第8回総務部会	事務所
2/11	10:00 スキー同好会	夕張マウントレースイ
2/15	18:30 第13回ケアカフェ	ほくやく
2/16	19:30 第12回理事会	事務所・ネット

2月16日以降の行事予定

2/18	15:00 地域医療構想専門部会(久恒専務)	まなみーる
2/19	18:00 医師会親睦会囲碁大会	スズケン
2/19	19:30 栗山方面会(三役出席)	南幌 二合半
2/23	19:30 野球大会総務部・競技部合同部会	事務所・ネット
2/25	16:00 長沼町地域ケア協議会(寺澤理事)	
2/26	18:30 医師会親睦会ボーリング大会	ポルタトーホーボール
2/27	14:00 第73回歯科国保臨時組合会(牛丸雅一支部長、竹内会議員)	道歯
3/ 5	14:00 歯科医療事故研究会&懇親会(鳥山理事)	札幌プリンスホテル
3/ 5	18:00 北海道歯科医衛生士会岩見沢支部親睦会(倉増会長)	名炭亭
3/ 5	14:00 歯科医療事故研究会(鳥山理事)	札幌プリンスホテル
3/ 5	16:00 岩見沢市医師会附属看護学校卒業式(祝電)	同校
3/12	10:00 第217回臨時代議員会(倉増会長・九津見代議員)	道歯会館
3/15	19:30 第13回理事会	事務所
3/16	18:30 地域連携推進会議生活習慣病対策専門部会(野崎副会長)	まなみーる
3/18	13:00 社保担当理事連絡協議会(清水理事)	道歯会館
3/19	15:00 在宅歯科医療連携推進連絡協議会(山田理事)	道歯会館
3/26	16:00 伝達講習会(講師:井谷常務理事)	いわなび

参考

1/25	8:00 北海道政策懇話会26朝食懇談会(永山支部長)	サンプラ
2/12	18:00 わたなべ孝一新春の集い	サンプラ
2/20	14:00 第4回連盟評議員会(永山支部長)	道歯会館
2/26	18:00 自民党岩見沢支部 新春の集い(永山支部長)	サンプラ

道央北連絡協議会報告

日時:2月6日(土)16:00 場所:滝川ホテル三浦華園
出席者:道歯一 藤田会長、長江副会長、大西専務理事
空歯一三役4名、理事3名 美歯一三役3名
岩歯一倉増 谷本 野崎 久恒 山本 永山 鳥山 (敬称略) 全20名

<道歯からの報告>

日歯共済死亡時受取金を400万円を300万円に減額の予定
歯科国保 国庫補助金の減額により28年度は据え置くが29年度は値上げが必要
保険指導・監査について全国平準化の動き、指導の対象基準を公表か
新規の指導を全員にするか否か、歯科医師会で教育的指導を行えるような仕組みを
未入会の個人開業医一岩見沢6名、美唄2名、空知0名
不祥事の為、連盟離れが懸念される

28年度から75歳以上の全ての後期高齢者の歯科健診を行う予算が出来た
市町村から委託されるよう各郡市区は行政と話を進めて欲しい

～質問～

代議員会制度はどの様に変えていくのか(野崎副会長)

→会長選に際し事前質問を一般会員が出来る様に改定していきたい

女性会員に対するセクハラパワハラについてサポート委員会で話題はあるか(久恒)

→第1回委員会では出ていない

認知症向上研修で得られる補助金の枠はどれ位か(空知南会長)

→26 医療機関×3年くらい

<協議事項① 地域住民からのクレームの現状および対処法について>

岩歯鳥山理事:事務局での対応マニュアルの紹介、クレーム対象が非会員の場合は
対処無し、賠償責任保険に非加入の割合を知りたいと訴え

美歯:クレーム処理の経験無し

空歯:困難を極めた事例等の紹介、損保ジャパンの講演が有効

道歯:郡市区の役割大切、道歯ではなく郡市区で対応して頂きたい

<協議事項② 会員減少に伴い郡市区の今後の会務運営方法について>

岩歯久恒:マンパワー不足が喫緊の課題、事業の効率化省力化と役員報酬を検討し
ている

美歯:終身会員を75歳以上35年以上の在籍に引き上げた

空歯:終身会員の割合が上昇、3年前に年会費を8万円から10万円に引き上げた、7
年後に再検討が必要

平成 28 年度 総務部事業計画案

事業方針

会員及び各部との連携を推進し、地域住民の健康の維持、向上を目指す。地域関係機関等との情報交換、連携を図り、岩歯会員の業権の確保、拡大を目指す。

1. 諸会議

一社) 岩見沢歯科医師会事業全般を遂行するため、次の諸会議を開催する。

- ① 通常総会・臨時総会 (各 1 回)
- ② 理事会 (1 2 回)
- ③ 三役会・総務部会 (1 2 回)
- ④ 定例監査 (2 回)
- ⑤ 道央北ブロック会議 (1 回) *29 年 2 月岩歯主管
- ⑥ 特別委員会の開催 (年数回)

2. その他事業

- ① 理事会、会員メーリングネットワーク
- ② 会員の福祉厚生事業の助成
- ③ 未入会会員対策
- ④ 表彰者披露式典及び忘年会
- ⑤ 行政及び関係機関との懇談

3. 予算 125 万円(会議費 52 万円、総務事業費 73 万円)

- ① 通常総会会議費 20 万円 (会場費 10 万円、懇親会費 10 万円)
- ② 臨時総会会議費 10 万円 (会場費 7 万円、懇親会費 3 万円)
- ③ 理事会会議費 10 万円
- ④ 道央北ブロック会議 7 万円
- ⑤ 委員会会議費 5 万円
- ⑥ 行政及び関係機関との懇談 25 万円
歯科衛生士会、技工士会、医師会、教育委員会、保健所等との懇談
- ⑦ 定例監査 5 万円
- ⑧ 事務員各会議出席代、残業代 15 万円
- ⑨ 表彰者披露式典及び忘年会費 25 万円
(会場費 10 万円、表彰者記念品 5 万円、懇親会費助成 10 万円)
- ⑩ 予備費 3 万円

平成28年度 医療管理調査部事業計画書(案)

1) 会議

- ①医療管理調査部会
- ②群市区歯科医師会医療管理調査担当理事連絡協議会
- ③札幌国税局管内税務指導者協議会
- ④北海道歯科医療事故研究会

2) 事業項目

- ①医療管理活動の推進事業
- ②医療管理に関する講習会の実施
- ③X線漏洩検査
- ④医療監視への対応
- ⑤医療上における諸問題の対応、処理

予算は、昨年度同様 250,000円をお願いいたします。

平成 28 年度 学校保健部事業計画 (案)

事業方針

各種事業を通して、児童生徒および保護者の口腔の健康に対する関心や意識を高める

1 諸会議

- ・ 郡歯区歯科医師会学校保健担当理事連絡協議会
- ・ 岩見沢市学校保健会総会
- ・ 岩見沢歯科医師会学校保健部会

2 事業

- ・ 第 64 回よい歯のコンクール
- ・ 北海道歯・口の健康に関する図画ポスターコンクール

3 予算

- | | | |
|---------------|----------|-------------|
| ・ よい歯のコンクール | 50,000 円 | |
| ・ 図画ポスターコンクール | 50,000 円 | |
| ・ 学校保健部会 | 20,000 円 | |
| ・ 予備費 | 30,000 円 | 計 150,000 円 |

平成 28 年度 保険部 事業計画および予算案

1. 諸会議

- ・ 医療保険に関する知識の確認や、診療報酬の改正に対する検討及び周知のための会議を開催。

① 部会開催(数回)

2. 社会保険診療に係る研修事業および情報発信

① 社会保険講習会の実施

② 地域別保険勉強会の実施～少人数制で行う

(岩見沢2回・夕張・三笠・栗山・長沼・由仁・南幌など)

③ 新入会員に対する保険指導

④ 保険部通信の発行(ML および FAX)

⑤ 事務担当者対象の講習会の開催(国保連合会に講師を依頼)

3. 医療保険に関する諸問題への対応

① 厚生局による指導への対応

4. 国保連合会への出向

① 審査業務

② 各種会議・講習会への参加

予算案

- ・ 部会費 : 20,000 円
- ・ 講習会費 : 70,000 円×2 回(懇親会費含む)
- ・ 保険勉強会費 : 30,000 円×6 回
- ・ 交通費及び宿泊費 : 50,000 円

合計 390,000 円

平成 28 年度 学術部事業計画

会員に対して、講演会等を開催し、会員の歯科医学研修の助けとなるよう事業を計画する。

1) 会議

- ①郡市区歯科医師会学術担当理事連絡協議会
- ②学術部会（随時）

2) 学術関係の普及発展事業

- ①学術講演会開催（年 2 回）
- ②企業の協賛による材料等の説明会（随時）

3) 予算

- ・講演会、会場費、懇親会 200, 000 円

計 200, 000 円

平成28年度 公衆衛生部事業計画書（案）

自：平成28年4月 1日

至：平成29年3月31日

事業方針：

<公衆衛生事業>

8020運動の普及啓発を目的とする。また口腔の健康づくりに関する意識の向上と知識の普及を図り、地域住民の口腔衛生の啓蒙、福祉の増進に寄与することにつなげる。

<地域医療事業>

医療連携推進事業を踏まえ、その流れを切らさぬようにさらにもう一步進め、他職種との連携を目指す。顔の見える関係を築くことを目標に事業を行う。また、その効果が、一部の参加者だけではなくすべての歯科医師会会員に波及することを目指す。

1) 諸会議

- ・公衆衛生部会（年8回）、
- ・技工士会・衛生士会合同部会（年3～5回）
- ・郡市区歯科医師会公衆衛生担当理事連絡協議会（年1回：5月予定）
- ・南空知圏域保健医療福祉圏域連携推進会議

2) 事業報告

<公衆衛生事業>

- ① 8020推進広報活動
- ② 歯の健康川柳コンテスト
- ③ 8020コンクール（高齢者のよい歯のコンクール）
- ④ 8020歯っぴースマイル（各受賞式典、公衆衛生活動）
 - ・岩見沢健康まつり会場内にて開催

開催日時：平成28年6月12日（日）赤レンガホール

<地域医療事業>

- ① ケアカフェいわみざわへの継続的参加、企画への参加
 - ・毎月10日開催予定 開催場所：ほくやく岩見沢支店
- ② 講習会の開催（医療、介護にかかる職種向け）
 - ・医療連携に実績のある講師を呼んでの講演会（前回同様、交流の出来る仕掛けを作る方針で行う）
 - 平成28年9～11月位までに開催を予定
- ③ 各健診事業（発掘、推進）
- ④ スライドライブラリーの充実

3) 予算：合計555,000円

内訳：

<公衆衛生事業>

- ・歯の健康川柳コンテスト 60,000円 (景品、審査費)
 - ・8020コンクール 100,000円 (参加費、ポスター制作費)
 - ・8020歯っぴースマイル 70,000円 (広報、備品等)
- ※会場費、設備費はかかりません。
- ・予備費 25,000円

<地域医療事業>

- ・医療連携 250,000円 (会場費、講師、広報等)
- ・予備費 50,000円

平成28年2月12日 公衆衛生部 作成

8020歯っぴースマイルの岩見沢健康まつりでの開催について

今年の岩見沢健康まつりの開催日が歯科医師野球大会2日目（6月12日）と同日になりました。マンパワー不足による困難も予想されますが、資料・案を下記に記しましたので協議お願いいたします。

＜平成27年度の8020歯っぴースマイル＞・・・参考資料

場所；イオン岩見沢店 時間；13：00～17：00

昨年度内容；

① ステージにて

8020コンクール表彰式・図画ポスターコンクール表彰式

②昨年度のイベント内容について

* 歯科医師会として行った内容

・ 歯科検診・口臭測定、咬合圧測定、唾液検査、口腔乾燥検査

* 技工士会として行った内容

・ 歯ブラシスタンド作製・技工物展示→検討

* 衛生士会として行った内容

・ フッ素洗口体験・歯科診療疑似体験・口腔衛生グッズ展示

③ ミニ講演会（15分）・・・講師）野崎副会長

＜平成28年度岩見沢健康まつり＞

日時；6月12日（日）10：00～16：00

場所；イベントホール赤れんが（岩見沢駅東広場）

来場者；例年 1200～1300人

内容；ステージ、フロア、奥の会議室等を使い健康にかかわるイベントを行う。

昨年度、歯科ブースは・歯科検診（歯科医師会）

・ 義歯クリーニング（技工士会）

・ 口腔清掃指導（保健センター）

＜岩見沢保健センターとの打合せ結果＞

・ ステージは13：30～使用（30分程度の移動は可）→新規

スライド・スクリーンも使用可・・・USBにて持ち込みで可

・ 歯科検診、口腔衛生指導・義歯クリーニング場所は昨年と同じ奥の部屋確保

・ ホールに衛生士会、技工士会スペース確保 →新規

<平成28年度8020歯っぴースマイルの健康まつりでの開催案>

① ステージにて

8020コンクール表彰式

時間：13：30～（参考：野球大会閉会式 13：00～予定）

協議点・12：30ぐらいから準備人手必要か（5，6名）

公衆衛生理事（寺澤、山田、樋浦）

公衆衛生部員（山崎、逸見・野球なし 前田、三木・野球あり）

歯科検診に午前、午後各1名必要

野球部員当日予定不明のため2，3名応援要員必要か

・会長挨拶

倉増会長時間的に難しいか→野崎副会長

・来賓あいさつ

昨年度・渡辺議員、松野市長→同様 もしくは なし

・8020コンクール開催時期 3月～ もしくは 4月～

・図画ポスター表彰式は間に合わなければ無か？

→その場合、良い歯のコンクールに移行か？

・野球閉会式終了後、来れる先生は間に合えば手伝いに移動

② イベント内容について案

* 歯科医師会・・・歯科検診（案 午前・・・山田 午後・・・逸見）

* 技工士会

・義歯のクリーニング（昨年同様奥の部屋）

・歯ブラシスタンド作製・技工物展示→検討

* 衛生士会として行った内容

・フッ素洗口体験・歯科診療疑似体験・口腔衛生グッズ展示

協議点・口臭測定、咬合圧測定、唾液検査、口腔乾燥検査については

今回、マンパワー不足のため見送りか

・技工士会、衛生士会には昨年同様もしくは同等の内容を依頼か

・その他

③ ミニ講演会につて

空き部屋はなし（昨年度の認知症サポーター使用してた場所はなし）

協議点・開催するかどうか

・開催するなら場所は？

案1）歯科検診の部屋で一時検診中止して行う

案2）ステージにて表彰式後行う・・・時間的余裕はありか（市と協議必要）

④ その他

平成28年度 福祉厚生部事業計画案

自：平成28年4月 1日

至：平成29年3月31日

事業方針

本会会員の福祉厚生の実を目的とし、福祉厚生事業の企画、運営を行う。各部と連携をとりながらより良い事業の在り方を追求していくことを方針とする。

1. 諸会議

福祉厚生事業を遂行するために、次の諸会議を開催する。

- ① 部会 (年数回)

2. 事業項目

- ① 会員・従業員集団健康診断
- ② 親睦ツアーの開催
- ③ その他親睦会・同好会の協力
- ④ 表彰者披露式典 余興等の企画
- ⑤ 各種共済保険に関する対応・情報発信など

3. 予算 55万円

- | | |
|-------------|------|
| ① 会員従業員健康診断 | 25万円 |
| ② 親睦会等補助 | 8万円 |
| ③ 野球部への助成金 | 20万円 |
| ④ 会議費・予備費 | 2万円 |

平成28年度 広報部事業計画素案

自：平成28年5月 1日 至：平成29年5月31日

事業方針

会員及び地域住民等に有用・有効な情報を正確且つ迅速に広報する。具体的には、各部との連携強化及び会員・関係諸機関等から広く情報の提供を受け、岩歯ホームページや掲示板、岩歯通信等を用いて広報する。

1. 諸会議

広報事業全般に関する意見交換・調査研究を行うため、次の諸会議の開催及び出席する。

- ① 広報部会 インターネット会議を適時
- ② 郡市区歯科医師会広報担当理事連絡協議会

2. 広報活動の推進

1) 会員向け広報活動

- ① 会務行事の資料収集
- ② 各部と連携による広報活動
- ③ 会員向けホームページの継続
- ④ 会員向けメーリングリストの構築、IT技術を用いた講演会や資料の配信、会議の開催。
- ⑤ 会員手帳の管理 (28年度はシールにて対応、1名分120枚にて税なし11,000円)

2) 対外広報活動

- ① 道歯会通信への投稿・・・28年7月号が担当号(締め切り6月10日)
- ② 道歯ホームページへの投稿
- ③ 行政や報道機関等の関係団体に対しての情報提供を行う
- ④ 地域住民向けのホームページの継続
- ⑤ 日本歯科医師会、北海道歯科医師会の行う対外広報活動に協力する。

3) その他、広報に関する事項

3. 備品購入・・・予定なし

4. 予算 130,000円(概算)

①会員手帳	11,000円×人数
②取材費	30,000円(道歯会通信担当号予定)
③岩歯ホームページ保守管理料	50,000円
④理事会メーリングリスト運用費	10,500円
⑤会員用メーリングリスト運営費	7,308円
⑥eFax利用運営費	9,950円

平成28年2月6日 広報部 作成

禁煙サポート従事歯科医師等養成研修会

～平成 27 年度口腔保健推進事業～

日時 平成 28 年 2 月 25 日 19:30～

場所 いわなび 2 階 研修室 3

1. 開会 (19:30)

2. オリエンテーション (19:30～19:35)

3. 講義 (19:35～20:30)

「禁煙外来等医療機関における禁煙指導及び禁煙補助剤の使用方法」

医療法人慈昂会 昂希内科クリニック 院長 武田 真一 先生

4. 実践発表 (20:30～21:00)

「歯科診療室における患者さんへの禁煙の働きかけの実際」

みかみ歯科・矯正歯科医院 歯科衛生士 西東 聖子 先生

5. 閉会 (21:00)

【開催趣旨と研修内容】

診療室で喫煙習慣を有する患者さんに「できれば禁煙してください」「禁煙できなくても、本数を減らすだけでもよいですよ。」という指導をしていませんか？このような指導は、誤解を恐れずに言えば、患者さんの禁煙の可能性を低め、喫煙継続を後押ししてしまう不適切な指導といえます。また、禁煙は単純に本人の意思の問題ととらえるのも誤った認識といえます。歯科臨床では、患者さんが長期間にわたりくりかえし来院する特長があることから、禁煙を支援するには有利な場であるにもかかわらず、現状ではそのアドバンテージを生かしきれえていないといえます。本研修では、歯科臨床において喫煙行動のある患者さんへ適切な情報を提供することをねらいとし、喫煙が薬物依存であることを踏まえ、禁煙補助薬を使用した禁煙外来での治療の手順と方法を学ぶとともに、医科医療機関へ紹介するための助言方法等について学びます。さらに、禁煙支援を行っている歯科診療所での実践について学んでもらう機会としたいと考えています。